

的に何う。

市長 ふるさとを守り育て、活力や文化の薫りに満ち、心安らぐまちづくりを、市民と行政の協働により進めます。

問 行財政効率化をどのように位置付けていくのか。

市長 効率的な行財政運営を施策に掲げ、行財政改革に取り組みます。

問 ヤングフォーラムやちまたの提言等をどのように具体的に折り返すのか。

市長 将来都市像の達成に向けて、早急に対応が迫られているものや市民要望の高いものから優先的に位置づけたい。

問 効率的・効果的な政策展開を図る本計画にこそ、その政策課題達成を目指した客観性の高い総合的な政策評価制度を導入すべきと考ええるがどうか。

市長 総合計画の進捗状況や達成度を市民にわかりやすく説明したり、目標管理、進行管理、業績評価の指標化を行うことが可能となります。

◆商工業振興

問 多様化する消費者ニーズに応える商業振興はどう

あるべきか。

市長 常に地域に生まれ、必要とされる商品を提供するとともに、情報・文化等の地域コミュニティの核としての機能、役割を果たすことが重要だと考えています。

問 創造性豊かな意欲ある人が、起業しやすい環境整備を期待するがどうか。

市長 起業家精神に富み、創造的な事業活動を行い、新商品・新サービスの開発及びすぐれたアイデア・技術を持ち、新事業の展開をはかるうとする企業や個人に対しては国・県で各種の融資制度により支援しています。当市でも平成14年4月に独立開業資金を創設し支援しています。

◆八街駅北側地区
土地区画整理事業

問 事業の進捗状況は。

市長 平成16年度末の捗率は約61%となる見込みです。

問 電線類地中化整備事業の進捗状況と今後の他地区への導入等をどのように考えているのか。

市長 全体延長約2千200mの内、15年度末までに約880mの整備を完了し、

今年度の整備予定は約430mを計画しています。

問 自由通路下公衆トイレにおける器物破損状況とその防止対策は。

市長 トイレの破損状況は、備付けのベビークリーンシートやトレットペーパーのホルダー等の破損、点検口がつぶされるなどの被害が出ています。防止策は、職員によるパトロール、夜間は警察にパトロールの強化をお願いし、被害の防止に努めています。

◆ごみ収集

問 ごみ収集日・場所等への心ない市民のルール違反への対応は。

市長 収集作業中に判明した違反ごみは、出し直しの指示書の貼付により間接的にルールに従った適正な排出を促すよう指導しています。また、違反者が判明している場合は、職員が直接注意を促す等の対応をとっています。

◆学校施設整備

問 学校教材備品の整備状況はどうか。

市長 各学校約80%充足しています。

問 保護者の教材負担の現状は。

市長 授業で使用する教材備品以外で、児童生徒に直接還元される漢字ドリルや図画工作や技術科の教材などは、補助教材費として負担していただいています。小学校では、教材費として毎月500円、中学校は1千500円前後を学校納入金として徴収しています。

個人
質問
加藤 弘

◆行政改革の中での
市民サービスの充実

問 市民サービスの現状と今後は。

市長 窓口業務は、本年7月25日から毎月の最終日曜日における開庁を始めてきた。利便性の向上、きめ細かなサービスを提供していきます。

問 市民の市政運営への参加や参加率向上をどのように図るのか。

市長 適切な市政情報の提供を行い、市民の皆さんと建設的かつ活発な議論が行える環境を整えたい。

問 市民の市政に対する理解と関心を高めるために、市役所職員の知識・経験を

持つて直接出向く「出前講座」の開講を望むがどうか。

市長 市に対する理解を深めていただくための「出前講座」のあり方や、ただ単に苦情やクレームを伺うための場とならないような展開上の工夫も研究しながら、今後検討します。

◆資源循環型農業の推進

問 家畜排せつ物等有機性資源の特性に応じた利活用の現状は。

市長 畜産農家は野積み等を解消するために補助事業や畜産環境リソース事業などを活用し、施設整備を行い堆肥生産に取り組みでいます。

問 堆肥に由来する硝酸性チッソ等による水質汚染対策は。

市長 環境にやさしい農業を実践するため、家畜排せつ物の適正処理に伴う家畜排せつ物や植物残渣などで作るチッソ成分の少ない堆肥を導入した環境型農業の推進を考えています。

◆精神障害者福祉の充実

問 本市での精神障害者の実態は。

市長 精神障害者保健福祉手帳の所持者は、平成16年3月31日現在で124名、通院医療費公費負担患者数は451名です。

問 平成14年4月から市町村の事業となっていた精神障害者居宅生活支援事業の取り組みと今後は。

市長 八街市を実施主体としたホームヘルプサービス事業について、県に届出をしていますが、現在、利用者はありません。福祉施設についても広域での対応や民間の施設整備の支援について検討を考えています。

問 精神障害者に対応する「24時間医療相談体制事業」の現状と本市の取り組みは。

市長 成田市にある医療法人聖母会が運営する地域生活支援センターを利用していただいております。電話相談は24時間対応です。

◆学校給食センター事業

問 国等において各省市の垣根が取り払われた施策が様々に展開されているが、学校給食の一部を高年齢者等福祉充実に活用できないか。

市長 児童生徒の発達段階における栄養等が確保された食事を配食しているので、高齢者の食事として適正な